シャーン・インクィジティブ

# 征服王カルン、死霊術士を登用

ニュース・フォー・サル：セレンドール，０８，９９８ＹＫ

*デイヴィット・ヌーナン著*

**モルグレイヴ大学の賢者、「征服王カルンは死霊術師を登用していた。」と語る。**

シャーン発：征服王カルンの時代専門のモルグレイヴ大学の歴史学者アデーレ・コルシニアン氏は、「征服王カルンは、その在位期間の最後に近い頃、彼の支配に刃向かおうとする陰謀を計画していると疑いを持った人物の魂を魔術で捕らえるために死霊術師を登用していました。」という研究結果を発表して物議を醸しています。

年代記の形で記された物議を醸している論文によれば、征服王カルンの在位期間最後の年に行われた、「シェケサールの追放」として知られる事件で処刑されたはずの反乱者が、その後も生きていたと示唆されている部分があるとのことです。「反乱者の死体は火葬される前に頭部を切断され、その頭部を死霊術によって生かし続けることによってカルン王は、反乱者とまがいなりにもある種の接触を維持することができた。」と、コルシニアン氏は主張しています。

「ここでは、征服王カルンの思考方法を考えることが重要です。」ウィアに行われたシンポジウムでコルシニアン氏は語りました。「征服王カルンは、すでに彼の帝国が疲弊の縁にあると考えていました。そのため彼は、自分の最も身近で信頼すべき助言者が彼に対して反乱を計画しているのだという証拠を掴みたがっていました。彼は反乱者を処刑しましたが、密かに彼らを生かしておきました。」

「現在では、正確にはどのような死霊術が使われたかについての情報は失われています。」とコルシニアン氏は語りましたが、恐らくは仮初め生命を維持し、反乱者の忠誠心を得られる類であったのは確実です。

これまで判明している歴史によれば、１２名の反乱者が処刑されています。」「しかし、処刑はすべて断頭で行われており、いずれも公開されていません。このことが『シェケサールの追放』を少なくとも２つの側面で不可解なものにしています。なぜ、シェケサール将軍と彼の共同共謀者は、他の反乱者が受けたような血にまみれた公開処刑をされなかったのでしょうか？」とコルシニアン氏は語りました。

コルシニアン氏はさらに、カルンの埋葬品の中に１２個のラッカー塗りの箱があることを指摘しました。「埋葬品には素晴らしい芸術品や強力な魔法の入れ物があるにも関わらず、なぜ１２個の箱がリストに入っているのでしょうか？これら１２個の箱が、死霊術によって保存されていたシェケサールとその共謀者の残骸であり、征服王カルンは自分と共に埋葬したいと考えたのではないかと、私は考えています。」

征服王カルンが死亡した後すぐに彼の親戚が宮殿に押しかけ、ほぼすべての品物を奪い去ってしまったため、実際に彼と一緒に埋葬された埋葬品はわずかなものだけでした。」とコルシニアン氏は語りました。「ラッカー塗りの箱は間違いなく１人、またはそれ以上の親戚によって持ち去られたことは疑う余地がありませんが、その後カルン帝国の崩壊に続いた混沌の中で失われてしまったのでしょう。」とコルシニアン氏は語りました。

シンポジウムにおけるコルシニアン氏の発表は、議論を引き起こしました。征服王カルンの聖地についての歴史に関する専門家ガール・イル＝ジャルチェック卿は、シェケサール将軍とその共謀者が死霊術によって生存していたという主張は「歴史的事実から直接導かれたものではなく、単なるおとぎ話に過ぎません。」と語りました。

「確かに征服王カルンが才能のあるすべての種類の魔術師を登用しており、死霊術を特別に嫌っていたわけではありませんが、だからといって死亡した死刑囚の頭部を保存していたということにはなりません。さらに興味を引かれる歴史上の疑問として、共謀者とされている１２名すべてが反逆罪に加担していたでしょうか？ということがあります。長期に渡って実権を握り続けていたシェケサール将軍は、宮廷の噂話によって悲劇的な誤解を受けたのです。処刑された司令官の２人であるカウとフジーリは、反逆が判明したときに首都からはるか離れた場所で勤務しており、宮廷政治に興味を持っていなかったと証明されています。愛人のヤヒーナと錬金術師のヴロールが反逆に際してどのような役割を果たしたのか、裁判記録ではほとんど触れられていません。」と、イル＝ジャルチェック卿は語りました。

「私やコルシニアン氏のような歴史家は、数世紀に渡って『シェケサールの追放』について行ったり来たりしながら研究を行っており、今後数世紀も同様の研究を続けているでしょう。」と、イル＝ジャルチェック卿は語りました。「シェケサール将軍が有罪であったかどうかを、死霊術で保存されているという本人の頭部に質問したいところですが、現実の歴史はそのようには働きません。」

**著者について**

デイヴィット・ヌーナンは、ウィザード・オヴ・ザ・コーストのデザイナー兼デヴェロッパーです。ウィザード・オヴ・ザ・コーストに入社する前、彼はワシントン州の日刊新聞のリポターとして働いていました。彼が市当局を打ち負かす訓練をしたことは、***『エベロン・キャンペーン・セッティング』***にとっては、明らかに良いことでした。

(C)1995-2005WizardsoftheCoast,Inc.,asubsidiaryofHasbro,Inc.AllRightsReserved.
ウィザード・オヴ・コースト社の所在地：Renton,Washington,POBox707,Renton,WA98057.

---

オリジナルのダンジョンズ・アンド・ドラゴンズのゲームは、Ｅ・ゲイリー・ガイギャックス、デーヴ・アーネソンによってデザインされました。その後、オリジナルを基にしたダンジョンズ・アンド・ドラゴンズの新版は、ジョナサン・トゥート、モンテ・クック、スキップ・ウィリアムス、リチャード・ベイカー、ピーター・アドキソンによってデザインされました。Ｄ＆Ｄ、ダンジョンズ＆ドラゴンズ、フォーゴットン・レルムは、ウィザード・オヴ・コースト社の登録商標です。ウィザード社のすべてのキャラクター、キャラクターの名前、肖像画は、ウィザード・オヴ・コースト社の登録商標です。この資料は、アメリカ合衆国の法律によって保護されています。ウィザード・オヴ・コースト社の許諾書なしでの本資料の製品化や、ここに含まれている資料や図画を無断で使用することは禁止されています。この製品はフィクションです。実在する人物、組織、場所、または出来事と類似していることがあっても、それは純粋な偶然にすぎません。このウィザード・オヴ・コーストのゲームにはオープン･ゲームの内容は含まれません。この資料のどの部分も許諾書なしで、どのような形であれ編集してはなりません。オープン･ゲーム・ライセンスとＤ２０システムに関するさらに詳細な情報を得るためには、わたしたちのＷｅｂサイト、www.wizards.com/d20 を訪れてください。
(C)2001-2005 Wizards of the Coast, Inc. All rights reserved.

**わたしたちのＷｅｂサイト、www.wizards.com/dnd を訪れてください。**